

篠崎 史子 SHINOZAKI Ayako

桐朋学園大学を首席で卒業後、アメリカに留学。1970年イスラエル国際ハープ・コンクール3位入賞。1972年「篠崎史子ハープの個展I」を開催。1973年小澤征爾指揮のベルリン・フィル定期演奏会に出演した他、ヨーロッパの各フェスティバルに出演。1974年文化庁在外研修員として西ベルリン、パリに留学。これまでにハープをJ.モルナール、M.グランジャーニー、L.ラスキーヌ氏に師事。「日本の古代ハープ」と言われる、奈良時代の楽器「箜篌（くご）」の演奏家でもある。平成13年度芸術祭優秀賞、第20回中島健蔵音楽賞、サントリー芸術財団第1回佐治敬三賞、2005年日本現代芸術振興賞、第17回朝日現代音楽賞を受賞、平成24年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。平成25年紫綬褒章を受章。イスラエル国際ハープ・コンクール、ジュネーヴ国際コンクールなどの審査委員を務めるほか、音楽大学において後進の指導にあっている。東京音楽大学客員教授、桐朋学園大学音楽学部特命教授。